



2026年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 サントリービバレッジ&フード株式会社
 コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 穰介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 沖中 直人 TEL 03-5579-1837

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	406,867	11.2	27,238	△0.2	27,035	1.1	20,133	△1.2	14,919	△3.2	23,539	—
2025年12月期第1四半期	365,782	△1.6	27,302	△19.4	26,732	△22.9	20,373	△21.3	15,417	△23.9	△12,606	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	48.28	—
2025年12月期第1四半期	49.90	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,180,502	1,430,078	1,315,104	60.3
2025年12月期	2,218,015	1,425,198	1,315,948	59.3

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年12月期第1四半期	20,637	△15,404	△22,085	132,417
2025年12月期第1四半期	11,506	△17,825	△24,425	126,314

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,826,000	6.4	155,000	4.2	154,000	4.8	110,500	0.3	89,000	0.3	288.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	309,000,000株	2025年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	340株	2025年12月期	340株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	308,999,660株	2025年12月期 1 Q	308,999,722株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、真のグローバル飲料企業として持続的な事業成長と企業価値向上を実現すべく、“質の高い成長”を目標に掲げています。2024年からスタートした中期経営計画においては、「ブランド戦略」、「構造改革」、「DEI（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）」、「サステナビリティ」の4つを重要な戦略テーマに掲げ、積極的に事業を展開しています。

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～3月31日）の連結売上収益は、コアブランドを中心とした積極的なマーケティング活動や、新たな価値創造を通じた需要創出の取り組みが奏功し、4,069億円（前年同期比11.2%増、為替中立6.1%増）となりました。一方で、連結営業利益は、マーケティング費用の増加および原材料価格や物流費の高騰により、272億円（前年同期比0.2%減、為替中立7.2%減）となりました。これに伴い、親会社の所有者に帰属する四半期利益は149億円（前年同期比3.2%減、為替中立10.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社は、海外事業の迅速な変革と一体経営を行うべく、2026年1月1日付で組織変更を実施しました。これに伴い、従来、「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」としていた報告セグメントを、2026年度より「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」に変更しました。前年同期比較では、前第1四半期連結累計期間の数値を、変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しています。

[日本事業]

売上収益は1,602億円（前年同期比4.9%増）となりました。

飲料市場（当社推定）は、価格改定の影響が継続する中、前年同期を下回りましたが、当社販売数量は、持続的なコアブランド強化に加え、「ギルティ炭酸 NOPE」をはじめとする新商品の投入により、飲料市場及び前年同期を上回りました。

ブランド別には、「サントリー天然水」、「BOSS」、「GREEN DA・KA・RA」の販売数量が前年同期を上回りました。「サントリー天然水」は、マーケティング活動が奏功し好調に推移しました。加えて、「サントリー天然水 きりっと yoghurt」も販売数量増に寄与しました。「BOSS」は、SOT缶の販促活動が奏功したほか、「クラフトボス」では、2月にリニューアルした「甘くない イタリアーノ」および「世界のTEA」シリーズが好調に推移しました。「伊右衛門」、「GREEN DA・KA・RA」は、大容量で価格改定の影響を受けましたが、小容量や展開品が堅調に推移しました。特定保健用食品・機能性表示食品においては、昨年10月に発売した「特水」が引き続き好調を維持しました。

セグメント利益は、インフレに伴う原材料価格や物流費の高騰に加え、マーケティング費用の増加により、43億円（前年同期比11.9%減）となりました。

〔欧州事業〕

売上収益は、880億円（前年同期比13.0%増、為替中立0.0%減）となりました。

フランスは、消費低迷の影響を受け販売数量が減少しましたが、為替の影響により増収となりました。イギリスは、販売数量は前年並みとなりましたが、価格改定や商品構成の改善が寄与し増収となりました。スペインは、商品ポートフォリオの拡充と積極的なマーケティング活動により増収となりました。

セグメント利益は、工場再編に伴う一過性費用やマーケティング費用増の影響により、111億円（前年同期比5.6%減、為替中立15.5%減）となりました。

〔アジア事業〕

売上収益は、831億円（前年同期比9.6%増、為替中立3.6%増）となりました。

飲料事業については、ベトナムでは、主力ブランドの「PEPSI」を中心に、旧正月需要に合わせた商品投入や積極的なマーケティング活動が奏功し増収となりました。タイでは、主力の炭酸カテゴリーにおいて消費環境を踏まえた価格・容量設計が寄与し増収となりました。

健康食品事業（タイ及びインドシナ半島）については、タイ国内での販売が堅調に推移し、為替の影響もあり、増収となりました。

セグメント利益は、マーケティング費用増の影響により、102億円（前年同期比1.4%増、為替中立4.1%減）となりました。

〔オセアニア事業〕

売上収益は、304億円（前年同期比66.3%増、為替中立49.8%増）となりました。

エナジーカテゴリーの主力ブランド「V」やRTDアルコール飲料が引き続き堅調に推移しました。RTDアルコール飲料については、1月からニュージーランドでも販売を開始しました。

セグメント利益は、増収効果により、31億円（前年同期比119.8%増、為替中立107.0%増）となりました。

〔米州事業〕

売上収益は、452億円（前年同期比9.8%増、為替中立6.8%増）となりました。

炭酸およびエナジーカテゴリーが好調に推移したことに加え、新商品の投入も寄与しました。

セグメント利益は、製造コスト高騰の影響を受けたものの、増収効果により、44億円（前年同期比10.8%増、為替中立7.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物、売上債権及びその他の債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ375億円減少して2兆1,805億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ424億円減少して7,504億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ49億円増加して1兆4,301億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ162億円減少し、1,324億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益270億円、減価償却費及び償却費227億円、売上債権及びその他の債権の減少418億円等に対し、棚卸資産の増加129億円、仕入債務及びその他の債務の減少317億円、法人所得税の支払額131億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ91億円増加し、206億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出164億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ24億円減少し、154億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払185億円、リース負債の返済による支出35億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ23億円減少し、221億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想については、2026年2月12日発表の連結業績予想から変更ありません。不確実性の高い状況が継続するとの想定のもと、引き続き、全セグメントで価値創造を通じた数量拡大と収益成長の両立を図り、業績予想の達成に向けて着実に取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	148,663	132,417
売上債権及びその他の債権	401,239	362,042
その他の金融資産	2,719	3,358
棚卸資産	137,528	151,508
その他の流動資産	35,892	42,149
小計	726,043	691,475
売却目的で保有する資産	1,114	1,130
流動資産合計	727,157	692,606
非流動資産		
有形固定資産	518,141	517,989
使用権資産	67,570	66,089
のれん	299,861	299,525
無形資産	565,445	562,995
持分法で会計処理されている投資	135	315
その他の金融資産	15,013	14,510
繰延税金資産	17,486	18,900
その他の非流動資産	7,203	7,568
非流動資産合計	1,490,858	1,487,895
資産合計	2,218,015	2,180,502

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	14,950	14,935
仕入債務及びその他の債務	503,547	472,816
その他の金融負債	26,064	24,755
未払法人所得税等	16,957	9,273
引当金	1,546	1,691
その他の流動負債	11,139	11,117
流動負債合計	574,205	534,589
非流動負債		
社債及び借入金	506	498
その他の金融負債	61,533	59,859
退職給付に係る負債	16,155	15,950
引当金	11,191	10,643
繰延税金負債	120,624	121,250
その他の非流動負債	8,599	7,631
非流動負債合計	218,611	215,834
負債合計	792,817	750,424
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	185,493	185,516
利益剰余金	767,388	763,518
自己株式	△1	△1
その他の資本の構成要素	194,683	197,687
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,315,948	1,315,104
非支配持分	109,249	114,973
資本合計	1,425,198	1,430,078
負債及び資本合計	2,218,015	2,180,502

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
	百万円	百万円
売上収益	365,782	406,867
売上原価	△227,104	△258,114
売上総利益	138,677	148,752
販売費及び一般管理費	△110,321	△120,406
持分法による投資損益	272	127
その他の収益	1,084	885
その他の費用	△2,410	△2,120
営業利益	27,302	27,238
金融収益	842	680
金融費用	△1,412	△883
税引前四半期利益	26,732	27,035
法人所得税費用	△6,358	△6,902
四半期利益	20,373	20,133
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	15,417	14,919
非支配持分	4,955	5,213
四半期利益	20,373	20,133
1株当たり四半期利益(円)	49.90	48.28

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	20,373	20,133
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	32	△129
確定給付制度の再測定	11	2
純損益に振り替えられることのない項目合計	43	△126
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△32,169	3,366
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	△839	162
持分法投資に係る包括利益の変動	△14	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△33,023	3,532
税引後その他の包括利益	△32,979	3,406
四半期包括利益	△12,606	23,539
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△11,877	17,673
非支配持分	△728	5,865
四半期包括利益	△12,606	23,539

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月1日	168,384	185,311	716,919	△1	138,973	1,209,587	105,690	1,315,278
四半期利益			15,417			15,417	4,955	20,373
その他の包括利益					△27,295	△27,295	△5,684	△32,979
四半期包括利益合計	—	—	15,417	—	△27,295	△11,877	△728	△12,606
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△20,084			△20,084	△144	△20,229
非支配持分との取引		22				22	△27	△4
利益剰余金への振替			0		△0	—		—
所有者との取引額合計	—	22	△20,084	△0	△0	△20,062	△171	△20,234
2025年3月31日	168,384	185,334	712,253	△1	111,676	1,177,646	104,790	1,282,437

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年1月1日	168,384	185,493	767,388	△1	194,683	1,315,948	109,249	1,425,198
四半期利益			14,919			14,919	5,213	20,133
その他の包括利益					2,753	2,753	652	3,406
四半期包括利益合計	—	—	14,919	—	2,753	17,673	5,865	23,539
配当金			△18,539			△18,539	△108	△18,648
非支配持分との取引		22				22	△33	△11
利益剰余金への振替			△250		250	—		—
所有者との取引額合計	—	22	△18,789	—	250	△18,517	△142	△18,659
2026年3月31日	168,384	185,516	763,518	△1	197,687	1,315,104	114,973	1,430,078

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	26,732	27,035
減価償却費及び償却費	19,810	22,713
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	48	77
受取利息及び受取配当金	△812	△607
支払利息	1,019	849
持分法による投資損益(△は益)	△272	△127
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,604	△12,908
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	33,531	41,750
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△24,660	△31,706
その他	△9,519	△13,319
小計	26,273	33,756
利息及び配当金の受取額	1,058	693
利息の支払額	△501	△669
法人所得税の支払額	△15,324	△13,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,506	20,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△19,059	△16,429
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	1,191	792
その他	42	232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,825	△15,404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△882	84
長期借入金の返済による支出	△20	△14
リース負債の返済による支出	△3,287	△3,496
配当金の支払額	△20,084	△18,539
非支配持分への配当金の支払額	△144	△108
その他	△5	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,425	△22,085
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,744	△16,852
現金及び現金同等物の期首残高	160,493	148,663
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△3,434	607
現金及び現金同等物の四半期末残高	126,314	132,417

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ミネラルウォーター、コーヒー飲料、茶系飲料、炭酸飲料、スポーツ飲料、特定保健用食品、酒類等の飲料・食品の製造・販売を行っており、国内では当社及び当社の製造・販売子会社が、海外では各地域の現地法人がそれぞれ事業活動を展開しています。したがって、当社グループの報告セグメントはエリア別で構成されており、「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」の5つを報告セグメントとしています。セグメント間の内部売上収益は第三者間取引価格に基づいています。

なお、当社は、海外事業の迅速な変革の加速と一体経営を行うべく、2026年1月1日付で組織変更を実施しました。これに伴い、従来、「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」としていた報告セグメントを、当第1四半期連結会計期間より「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」に変更しました。前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

	報告セグメント					合計	調整額	連結
	日本	欧州	アジア	オセアニア	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部顧客への売上収益	152,650	77,843	75,826	18,267	41,193	365,782	—	365,782
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	21	128	271	—	—	422	△422	—
計	152,672	77,972	76,098	18,267	41,193	366,204	△422	365,782
セグメント利益	4,852	11,800	10,054	1,401	3,960	32,069	△4,767	27,302

当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

	報告セグメント					合計	調整額	連結
	日本	欧州	アジア	オセアニア	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部顧客への売上収益	160,179	87,959	83,101	30,379	45,247	406,867	—	406,867
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	21	135	—	—	—	157	△157	—
計	160,201	88,095	83,101	30,379	45,247	407,024	△157	406,867
セグメント利益	4,276	11,142	10,190	3,079	4,387	33,077	△5,839	27,238

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。